

Local Area News

県外視察研修を実施

群馬県コンクリートブロック事業(協)

群馬県コンクリートブロック事業協同組合(町田憲昭理事長)は、8月最後の猛暑日となった27日、町田理事長以下、組合員等25名の参加により、毎夏恒例の研修会事業で、茨城県内のブロック建築施設の視察を行った。

まず、茨城県菅住宅として初めてRCB造を採用した水戸市の県営石川アパートを訪問。築30年余を経たとは思えない綺麗な外観、使い勝手もよいことから現在も満室が続いているとのこと。

続いていわき市に移動し、カトリック小名浜教会を視察。昭和31年建設の教会建築は今でも現役。東日本大震災の時は津波が近くまで押し寄せたものの、前庭のマリア像の前で止まり被害を免れたとの話もうかがった。



小名浜教会内で記念撮影

帰路のバス車中では、小山高専川上勝弥名誉教授のJ-S規格に関する講演や質疑も行われるなど、コンクリートブロックの需要拡大と業界の発展に、参加者一同思いを新たにしたりした一日となった。

タイヤの無料点検を実施

群馬県タイヤ商工(協)

群馬県タイヤ商工協同組合(坂本欣也理事長)は、9月1日、前橋市・群馬運輸支局で行われた「自動車点検整備推進デー」に参加し、タイヤの無料点検を行った。このイベントは、毎年9月1日に(一社)群馬県自動車整備振興会の主催で行われており、ディーラーによる最新モデルの車の展示や、白バイによる走行デモンストラクションなどが行われる。中でも、当組合と振興会が連携して設



丁寧かつ念入りに点検を行った

置する「10分無料点検コーナー」は、当イベントの人気コーナーとなっている。

当日は、タイヤの空気圧や溝の深さ・亀裂・損傷等の確認を行い、自分でタイヤの溝の深さを測ることが出来るゲージを含めたお土産を手渡した。あいにくの雨模様にもかかわらず、途切れることなく点検希望者が訪れ、タイヤについての相談にも応じた。

団地まつりを開催

館林金属工業団地(協)

館林金属工業団地協同組合(多田征訓理事長)は、9月7日、館林市・組合事務所駐車場において、「団地まつり」を開催した。

当イベントは、組合員同士の協調と団結、組合員各社の社員とその家族の慰安を図るために実施している。今年で14回目の開催となり、約500人が参加した。

会場には焼きそば・フランクフルトなどの出店を設け、八木節、抜刀術、バンド演奏といったステージ企画も用意。終始賑やかな雰囲気、参加者を楽しませていた。

LAW



大勢の参加者で賑わう会場

開設40周年記念式典を開催 群馬県素材生産流通(協)

群馬県素材生産流通協同組合（橋爪洋介理事長）は、9月7日、藤岡市・組合事務所入札室において、原木市場開設40周年記念式典を開催した。

40周年という節目の年を迎えた今回は、橋爪理事長の挨拶に始まり、直近1年間において原木買上額の多かった買方業者等への感謝状の贈呈についても、橋爪理事長自ら感謝状を手渡した。続いて、来賓を代表し関東森林管理局長らが祝辞を述べた。



橋爪理事長より感謝状を手渡した

式典終了後に祝宴を開催し、アユの塩焼き等を振る舞った。参加者同士の懇親を深めた後、記念市の入札を行った。

「しづかわ環境まつり」に参加 渋川リサイクル資源(協)

渋川リサイクル資源協同組合（高橋保夫理事長）は、9月9日、渋川市・子持ふれあい公園において、渋川市が主催する「しづかわ環境まつり」に参加した。



冒頭挨拶に立つ高橋理事長

このイベントは、消費者にごみの減量化と環境保全への理解を深めてもらうと毎年開催しているもの。12回目の開催となった今

回は、環境と3R（Reduce・Reuse・Recycle）をテーマに、環境関連団体が環境にまつわるクイズやスタンプラリー、パネル展示、体験コーナー等を実施したほか、地元の事業者・市民団体による模擬店やフリーマーケット等も行われ、多くの家族連れで賑わった。

当組合では、豪華景品が当たる抽選会とともに、遊び体験コーナーとして「缶釣り」（釣った缶の個数に応じて景品と交換）等を実施。参加者を大いに楽しませながら、日頃の環境保全活動をPRしていた。



缶釣りコーナーの様子